

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月1日

評価対象年度：平成19年度				管理	1-1-2-10
事務事業名 小学校運営事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	小学校管理運営事業	
	一般	01-100201002	細々目名	課等名	幼保学校課
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	1	小中学校教育体制の充実と施設の整備充実		
	基本事業名	2	学校運営基盤の充実		
係等名	学校教育係				

事業概要 実施内容	児童の健全な育成に主眼を置き、児童や地域の実態に即した市民の期待に応える学校教育の推進を図る。				
根拠法令等	学校教育法等関係法令 本宮市立小中学校管理規則		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	4 共済費	4,887,705 円	11 燃料費・印刷製本費	26,102,162 円	16 原材料費	4,936 円
	7 賃金	29,872,126 円	12 役員費	1,763,115 円	18 備品購入費	1,764,655 円
	8 報償費	116,000 円	13 委託料	5,130,669 円	19 負担金補助及び交付金	135,053 円
	11 消耗品費	4,512,405 円	14 使用料及び手数料	1,911,291 円	合計	76,200,117 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		市内小学校児童			
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		小学校に予算配当をし、学校管理費 (消耗品費・備品等の購入) の適切な予算執行を行う。			
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		教育内容の充実さらには教育環境の整備を図る。			
		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標 指標 名称 予算に占める学校管理費の割合 (1) 式 学校管理費 / 小学校費決算額 指標 名称 (2) 式			
		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標 指標 名称 学校管理に係る児童一人当たりの額 (1) 式 学校管理費の決算額 / 児童数 指標 名称 (2) 式			
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか 小学校の運営に必要な経費を予算化し、教育の機会均等と教育水準の維持向上に努める。					

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	%			11.29	15.03	
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	千円			38	42	
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			76,200	82,930
	事業費計 (A)	千円			76,200	82,930	
	職員数	人				0.1	0.1
	人件費	千円				8,373	8,373
人件費計 (B)	千円				837	837	
総事業費 (A+B)	千円				77,037	83,767	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?</p> <p>年々財政が厳しくなる中、管理運営及びそれらに係る事務を執行する上で極めて厳しい。限られた予算を有効活用し、児童がより良い教育環境で勉強・運動に励むことができるように努める。</p>
<p>この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?</p> <p>教育環境の観点から、学校管理備品の整備状況について要望あり。</p>

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						